

仮設住宅や隣接する住宅にとって不可欠な存在に ～『ふたばふれあい処』～

【 福島県いわき市南台地区 】

名 称 : ふたばふれあい処
所 在 地 : 福島県いわき市南台3丁目1-1(ニチバン(株)工場用地応急仮設住宅内)
種 別 : 仮設店舗
延床面積 : 114㎡
入 居 者 : 小売業(ミニスーパー)(避難元:双葉町)
区 画 数 : 1区画
建物構造 : 鉄骨造 1階建て
事業開始 : 平成24年2月10日
完 成 : 平成24年3月20日
供用開始 : 平成24年3月21日

福島県双葉町は、福島第一原子力発電支所事故により街全体が警戒区域に設定され、町民が避難を余儀なくされた。

双葉町は、応急仮設住宅（259戸）に入居した避難住民の利便性の確保と、同じ町民の役に立ちたいと事業再開を強く望む入居者の意向を踏まえ、中小機構に仮設店舗施設の整備を要望した。

この仮設店舗は、避難住民だけでなく隣接する住宅団地の住民にも広く利用されており、地域にとって不可欠な存在となっている。

特に、ここで提供する刺し身は、双葉町で営業しているころから評判が高く、わざわざ自家用車で買い物に来るお客もいるほどである。また、同じく被災した浪江町の地酒も扱っており、被災事業者間での連携も図られている。

